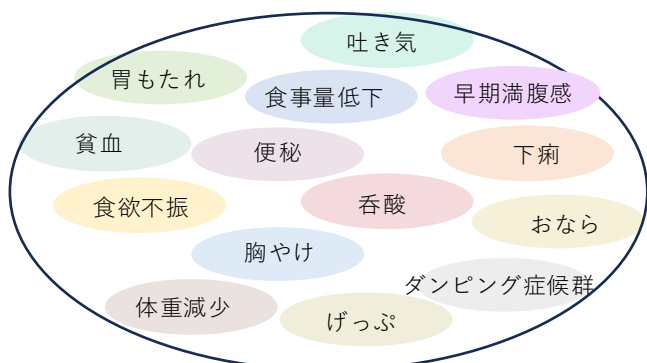


「胃切除後症候群とPGSAS」

- 胃癌などでの胃切除術後は、食事に関連した様々な症状が現れ（胃切除後症候群）、栄養状態・体重・QOLなどが低下することがあります。
- 胃癌術後の体重減少やQOL低下は、再発リスクや予後と関連することが報告されています。
- しかし、胃切除後症候群を客観的に評価することは難しいため、患者さん自身が症状や生活の質を評価する指標として**PGSAS (PostGastrectomy Syndrome Assessment Scale：ペガサス)**が開発されました。

① 胃切除後症候群とは？

胃切除により、消化・吸収・食事行動などに変化が生じ、さまざまな症状が現れます。



↓
QOLの低下
身体的・精神的・社会的な面すべてに影響

↓
低栄養・サルコペニア
筋肉量や免疫力の低下、活動性の低下

↓
治療の継続や長期予後への影響

② PGSAS（ペガサス）とは？

胃切除後の患者さんの症状やQOLを、患者さん自身が回答する質問票で評価・数値化するツールです。

PGSASの特徴

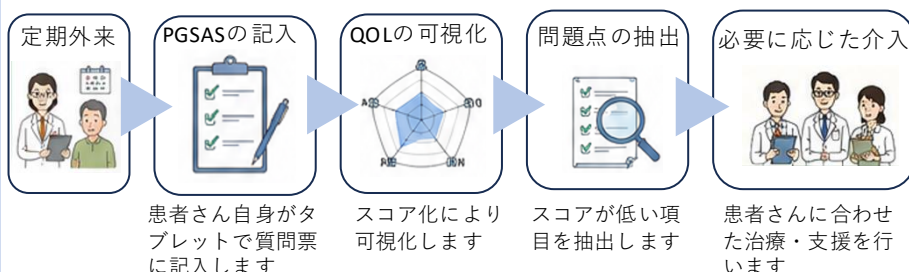
- ✓ 患者さん自身が評価する質問票（自己記入式）
- ✓ 37項目の質問で構成される
- ✓ 回答を基に解析用アプリを使用して点数化
- ✓ 「逆流」・「腹痛」・「食事関連愁訴」・「消化不良」・「下痢」・「便秘」・「ダンピング症状」・「食事の質」・「生活不満足」についてスコア化される（0-7点で点数が高いほど症状あり）
- ✓ 症状・生活・満足度などを多面的に評価
- ✓ 治療効果や介入効果の評価にも有用

【PGSAS-37】胃切除術後評価	
カルテ患者ID	
カルテ患者氏名	
QRコード	
患者ID	
問診回数	1(回)
問診日	2026/03/18
身長	176(cm)
体重(術前)	64.1(kg)
体重(現在)	59.8(kg)
術式	幽門側切除(B-1)
食道逆流	1(点)
腹痛	2(点)
食事関連愁訴	3(点)
消化不良	2(点)
下痢	1(点)
便秘	2(点)
ダンピング症状	1(点)
食事の質SS	5(点)
生活不満足SS	3(点)
全体症状スコア	1(点)
PGSAS全体症状スコア	1(点)

実際の診療支援端末画面

③ 当科でのPGSAS活用方法

術後の定期外来にてPGSASを実施し、QOL評価を行っています



④ PGSASで広がる研究

近年、PGSASを用いた研究が数多く報告されており、胃切除後患者のQOL向上を目指したさまざまな検討が行われています。

- ・ 術式別QOLの比較
- ・ 残胃容量、再建法とQOLの関連
- ・ 高齢者胃癌患者のQOL評価
- ・ 体重減少・栄養状態との関連
- ・ 術後症状（逆流・ダンピングなど）の解析

PGSASによる評価を通じて、見えにくい術後障害を見える化し、患者さんが安心してよりよい生活を送れるように努めています。

参考：胃外科・術後障害研究会 資料

文責：相澤 卓（総合外科（胃外科グループ））